日刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）
電話 （鉄電） 千葉 2935・2939番
（公） 043（222）7207番
97.3.24 No. 4568.

大合理化の中、新しい動労千葉の闘う拠点＝千葉機関区支部結成！

新小岩、佐倉、幕張でろ、19スト貫徹

(1)、九七春闘勝利・貨物格差粉砕！
(2)、三・二二ダイ改合理化粉砕・運転保安確立！
(3)、強制配転者の原職復帰・一切の不当労働行為の根絶！
(4)、JR総連解体ー組織強化・拡大！

われわれ動労千葉は、以上四つの課題を掲げ、新小岩・佐倉・幕張支部を拠点として、三・一九春闘ストライキを貫徹した。

ストライキ貫徹の動労千葉総決起集会に先立って、佐倉機関区の廃止、新小岩機関区の縮小という大合理化攻撃を打ち破り、全員ストライキに突入した幕張支部をはじめ、千葉市民会館に結集した組合員、支援の仲間が見守る中、新しい動労千葉の闘う拠点＝千葉機関区支部が結成された。

写真上。的場支部長の音頭で団結ガンバロー!! 写真下。新しい機関区支部の動輪旗

新小岩支部の仲間達は、結成大会の前に職場でスト突入集会をかちとり、市民会館に集合、第二〇回新小岩支部臨時大会を開催した。

佐倉支部の仲間達は、三里塚・ジェット闘争をはじめ、数々の闘う伝統をもつ、佐倉機関区の廃止攻撃に怒りを燃やし、これをのり越えて新小岩と千葉、新たな職場で闘う決意をこめて結成大会、総決起集会に臨んだ。

千葉機関区支部結成大会では、九七春闘ー三・一九ストライキの今日を出発点に、「国鉄分割・民営化＝JR体制打倒」、「新フレイト二一」＝「貨物六千人体制」合理化と、その最悪の先兵、日貨労を解体することを高らかに宣言した。

三里塚反対同盟の北原事務局長は総決起集会の来賓あいさつの中で、「やはりね、動労千葉はすばらしい、組合員が結束して闘っている姿を見て胸が熱くなっている。三〇年間、動労千葉と反対同盟の労農連帯は終始一貫かわらない、日本の中においてこんなにすばらしい共闘があるだろうか」と感動を語った。

成田市議の足立まち子さんは、「九七春闘をけん引し、労働者の希望と闘う道をさし示す」動労千葉を讃えた。さあ、まさに闘いはこれからだ、日本の労働者、労働運動の未来を切り拓く国鉄闘争の勝利へ、決意も新たに前進しよう！

3月21日付、日刊4568は、4567の誤りです。おわびして訂正します。

結成宣言

われわれ千葉機関区支部は、九七春闘ストのさなか深紅の動輪旗を掲げた。われわれ千葉機関区支部の結成は、「新フレイト21」計画による、佐倉機関区廃止、新小岩機関区の派出化、千葉機関区の新設という基地統廃合攻撃のなか、かちとられた。

われわれは、この新たな闘いの拠点において、与えられた闘いの使命の貫徹に向け闘いぬく決意である。

第一に、われわれは、解雇撤回・清算事業団闘争勝利、差別なき職場の実現へ向けて全力で闘いぬく。

第二に、「新フレイト21」＝「貨物六千人体制」合理化攻撃に反対し、六〇歳まで働くことのできる労働条件の確立へ闘いぬく。本日の闘いはその第一波闘争だ。日貨労を解体し、「新フレイト21」攻撃を粉砕しよう。

第三に、低額・格差回答＝ベア・ゼロ攻撃を許さず、貨物格差解消へ向けて、春闘第二波ストも辞さず全力で決起する。

第四に、JR総連の組織的危機が決定的に深まっている中、全力で、JR総連解体・組織拡大の闘いにたちあがる。

第五に、「大失業と戦争の時代」の到来は、賃金や雇用形態を破壊し、労働者を無権利状態に落とし込もうとしている。「全国にはばたこう」方針のもと、労働運動の新たな潮流をつくりだすために奮闘するものである。

われわれ千葉機関区支部の闘いは、今日この場から始まる。佐倉機関区廃止への怒り、佐倉機関区から配転された仲間たちの悔しさを胸に刻み込み、千葉機関区を動労千葉の拠点とするために、動労千葉千葉機関区支部の結成を高らかに宣言する。

右、宣言する。

一九九七年三月一九日

国鉄千葉動力車労働組合
千葉機関区支部結成大会

新たな10万人合理化粉砕!! 労働運動の新たな潮流めざし全国へはばたこう!!